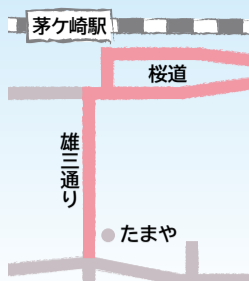


Vol.5 茅ヶ崎 商店街さんぽ

茅ヶ崎ライフを満喫できる個性豊かな商店街(商店会)を紹介します。



南駅前商店会



どんなところ?

駅南側の玄関口 笑顔でお出迎え

地元の人が頑張るこだわりの店舗ばかり。会員も年々増えています。「まちの元気は商店会の元気、お店の元気」をモットーにイベント開催やまちの安全を守る活動に協力し、にぎわいづくりに貢献しています。マスコットキャラ「まちぐるみちゃん」がお店に隠れているので探してみてください。



商店会の皆さんとまちぐるみちゃん

イチオシ情報

能登半島地震支援 チャリティーコンサート

日時 3/30(土)18時30分~20時30分
場所 ちがさきMKホール(幸町16-2)
ほか チケット3500円(内2000円を寄付)
詳細は商店会HP参照



例年のコンサートの様子



イベント情報など



体験型多世代交流イベント
プラス
こどたん+2024



こどたん+2024

ちがさき市民活動サポートセンター ☎(88)7546

「茅ヶ崎を知る、みんなでつながる、新しいことにチャレンジする」という体験から、子どもも大人も楽しく市民活動が学べます。

日時 3/9(土)9時30分~15時30分、3/10(日)9時30分~15時

場所 ちがさき市民活動サポートセンター **ほか** 当日受け付け(先着)または事前申込制。有料ワークショップあり

どきどきわくわくたいけん

ポッチャ/無線通信/保護犬の家族探し
手話ダンス/ラジオドラマ収録/防災スタンプラリー
パラフーク/ソーラークッキング/手形アート
デコパージュ/おえかきリレー/KEEP LEFTプレート
点字/竹とんぼ/万華鏡/ゴム銃/スクラッチアート
電池の実験/羊毛フェルト/ロープワーク 他

うきうきおかいもの

フェアトレード雑貨
木工おもちゃ
おまつり屋台
ゲーム
くじ 他

PICK UP

手作り名刺を持って、一歩踏み出そう

将来の目標などを書いた名刺を使い、参加者と交流。新たな自分を見つけるワークショップを開催します。

日時 3/9(土)13時30分~15時30分

定員 30人(申込制(先着)) **ほか** 費用500円(材料費)

茅ヶ崎ゆかりの人物たち

第三十二回

柳井隆雄

今回は、監督・小津安二郎や脚本家・野田高梧に続き、茅ヶ崎にゆかりのある映画人、松竹を代表する脚本家・柳井隆雄を紹介します。

脚本家への道のり

1902年2月15日、柳井は4人姉弟の末っ子として、現在の広島県福山市に生まれました。1914年、一家は柳井の父の弟を頼って朝鮮に移住しましたが、4年後に父が亡くなったため、家族を支えようと学校を中退し、朝鮮総督府通信局電報調査課に入局しました。勤務の合間などにさまざまな小説を読み、愛読していた作家の一人、武者小路実篤が提唱した「新しき村」運動に共感しました。1922年秋に、友人とともに宮崎県児湯郡木城村にあった「新しき村」に入村。しかし、劇作家になる夢を持っていた柳井は、1924年に上京して「新しき村」の出版部である曠野社に勤め、その傍ら新劇などを観て歩きました。

その後、曠野社を出た柳井は、1928年に松竹浦田撮影所で開かれた脚本研究会が、研究生を募集していることを知り、第一回研究生に応募して合格します。研究生となった柳井は、脚本家・野田高梧などの指導を受けて、脚本家としての道を歩み出しました。同期には、「父ありき」の共同脚本を手がけた池田忠雄が、また一期下には、のちに茅ヶ崎館の「一番」の部屋の主と呼ばれ、「鐘の鳴る丘」などを書いた斎藤良輔がいました。

デビューから松竹を代表する脚本家へ

柳井は研究生となった翌年の1929年、『岡辰押切帳』で脚本家デビュー。特に、松竹浦田撮影所時代に脚本を手がけた「与太者」シリーズは人気を集め、1933年の『与太者と海水浴』では茅ヶ崎でロケーション撮影が行われ、スタッフは茅ヶ崎館に滞在しました。また、小津に勧められた矢田津世子の小説「秋扇」を柳井が脚色した1938年の映画『母と子』は、この年のキネマ旬報ベストテン第3位を獲得しました。この作品は、原作の舞台である平塚を茅ヶ崎に変更し、主人公の母親の隠遁先として登



大庭秀雄(左)、石坂洋次郎(中)、柳井隆雄(右)(個人蔵)

場をさせていた柳井が、この理由と

「父ありき」の脚本を改稿する時には、同じく茅ヶ崎に住んでいた脚本家・池田忠雄とともに、小津が逗留している茅ヶ崎館に赴き、一緒に執筆を行ったこともありました。小津の日記には柳井の名前も多く登場しており、二人に親交があったことがうかがえます。また、同じく茅ヶ崎に住んでいた監督・大庭秀雄とは、1955年の時代劇映画『絵島生島』で再びコンビを組むなど、公私ともに交流がありました。

茅ヶ崎での生活

柳井は戦前から茅ヶ崎に自宅を構えて住んでいました。小津の作品である『父ありき』の脚本を改稿する時には、同じく茅ヶ崎に住んでいた脚本家・池田忠雄とともに、小津が逗留している茅ヶ崎館に赴き、一緒に執筆を行ったこともありました。小津の日記には柳井の名前も多く登場しており、二人に親交があったことがうかがえます。また、同じく茅ヶ崎に住んでいた監督・大庭秀雄とは、1955年の時代劇映画『絵島生島』で再びコンビを組むなど、公私ともに交流がありました。

【文化推進課市史編さん担当】 ☎(81)71480

広告掲載のお申し込み・お問い合わせは広報シティプロモーション課 ☎(81)7123ハ

ご葬儀は **サン・ライフ**

茅ヶ崎市での **家族葬**

茅ヶ崎駅北口より徒歩 10分
ファミリーホール茅ヶ崎 (十間坂 3-9-1)

湘南新道と鉄道の交差点かど
ファミリーホール湘南海岸 (常盤町 6-29)

事前相談・見学・見積
わからないこと
すぐ聞ける!!

24時間365日いつでもサポート
コールセンター
☎0120-41-3140

相談員/河瀬(左)・川古谷(右)

シニア向け賃貸マンション
入居受付中

ビバヴィレッジ湘南茅ヶ崎

茅ヶ崎駅南口より徒歩
3分

実施中!!
施設見学
お気軽にお問合せください。

ポイント

- 同ビル内に包括支援センターとデイサービス、クリニック、薬局を併設。
- 手すり付きのトイレや浴室、IHクッキングヒーター付き。全室緊急通報装置付き。
- 健康に配慮したお食事も配膳可能。又、イベントに合わせたメニューや外食も。
- 先々、介護度が上がった場合、併設の介護付き有料老人ホームへ住み替えることも可能。

茅ヶ崎駅(南口) 交番 たまや 入居 吉野家 シニア薬局 後茅ヶ崎病院

茅ヶ崎メディカルケアセンター 11F~12Fクアヴィレッジ湘南茅ヶ崎

シニア向け賃貸マンション
ビバヴィレッジ湘南茅ヶ崎
茅ヶ崎市幸町5-8茅ヶ崎メディカルケアセンター11F~12F
お申し込みはこちらから ☎0467-86-3322
http://www.vivavillage.jp/